

講座コード

2511G001

PFASとはなに？

～新たな公害？正しく恐れよう！全国の地下水汚染状況～

対面講座

楽しむ
科学

場所	飯田橋キャンパス	受講料	7,500円(3回)	定員	15名
講座形式	対面	対象者	問わない	単位	1

曜日 水曜日

時間 14:00～15:30

4月 9、16、23日

昨年7月のNHKテレビ番組の「クローズアップ現代」にて、「PFASの水道水汚染」が採り上げられた。

それまでは講師の住んでる東京都多摩地区はじめ、米軍横田基地や沖縄の米軍基地周辺の地下水・水道水汚染問題であったが、岡山県吉備中央町の水道水汚染だけでなく、全国汚染データが公表された。まさに新たな公害か？米国では厳しい規制値が設定され、欧州ではPFAS全体が規制されかねない状況である。

PFASは有機系フッ素化合物の総称で、分子鎖の短いPFOAは世界保健機構WHOの国際がん研究機関が発がん性物質として認定している。

このPFOAとPFOS・PFHx・PFNAいずれも分子鎖が短い物質が健康障害をもたらす可能性が高い化合物である。一方、分子鎖の巨大なフッ素樹脂やフッ素ゴムなどは産業界にとって必須の材料で、体内へ入っても消化吸収されず排泄される。

＜各回の講義テーマ及び概要＞

第1回：『PFASとはなにか？』『PFASはなぜ怖いのか？』

「全国の汚染状況は？」

「土壌汚染→地下水汚染→上水汚染→水道水汚染→体内へ」

「土壌汚染→農作物汚染→体内へ」

「体内では胃腸で消化吸収→血液から臓器へ。脳へ？歯や骨へ沈着？」

第2回：『身近なフッ素製品はPFAS大丈夫？』

「歯のフッ素処理は？」

「泡式消火剤は？」

「フッ素処理食品包装紙は？」

「フライパンや電気釜のフッ素コートは？」

「衣類の撥水コートは？」

「フッ素樹脂やフッ素ゴムは？」

第3回：『これからどうすれば良いか？』

「水道水の水源に地下水を使用していないか？」

「地下水が汚染されていないか？」

「近くに軍事基地・フッ素製品の製造工場・産業廃棄物置き場は無いのか？」

「心配なら血液分析を！」

「心配な地域では公費による検査の促進」

「特に心配な方は血液検査と腎臓癌などの検診を！」

「環境省や都道府県のホームページの閲覧」

「PFAS報道の注視」

「PFAS全国汚染データ集」も示します。“あなたの家の水道は大丈夫？”

申込受付開始日

会員の方 3月3日(月曜日)～

一般の方 3月5日(水曜日)～

申込方法

①インターネット

<https://www.ou.tmu.ac.jp>

②電話・窓口

03-3288-1050 (受付:平日9時～17時30分)

講師



おおいし ふじお
大石 不二夫

神奈川大学名誉教授・
総合理学研究所客員研究員
(工学博士)

講師略歴

1940年 東京都小石川生まれ。
中学3年末～高卒迄国策パルプ
本社ビルのエレベーターボー
イ。都立化工高を卒業後、千代
田化工建設(株)1年間。東京都立
大学工学部卒業後、国鉄本社採
用で鉄道技研(財)鉄道総研に
て研究・開発26年間。50歳～神
奈川大学理学部教授、研究・教
育に20年間。70～81歳帝京大
学短期大学教授、客員教授。